

国民皆保険を支える 健保組合

健保組合は、皆さんからいただいた健康保険料で、医療費の支払いのほか、健診・保健指導の実施、健康教室の開催など、皆さんの健康をサポートする取り組みを進めています。また、誰もが安心して必要な医療を受けられる国民皆保険制度を支えるため、高齢者の方の医療費を支援しています。

健保組合では、加入者と事業主が連携し、自主・自立の運営を行っています。

保険料率を自主設定

加入者・事業主の代表が、健康保険料率を自ら設定し、効果的・効率的な運営に努めています。

事業主との連携

加入者や事業主との距離が近いいため、事業主と連携し、加入者の状況やニーズに応じた事業を展開できます。

加入者の特性に応じた 保健事業の展開

加入者の年齢構成や疾病構造などの特性に応じた保健事業(健診・保健指導、健康教室等)を展開しています。

適正な医療費の支払い 医療費節減に向けた取り組み

病院から請求される医療費のチェック、ジェネリック医薬品の使用促進など、医療費節減に向けた取り組みを積極的に進めています。

国民皆保険制度は、私たちが安心して必要な医療を受けるためになくしてはならないセーフティネットですが、急速に進む高齢化や医療技術の進展によって医療費は年々増え続けており、このままでは医療費を負担しきれず、国民皆保険制度を維持することが難しくなってきます。

国民皆保険制度は、今後も維持していかなければならない大切な制度です。

健保連は、健保組合こそ国民皆保険制度を維持する重要な基盤であると考えています。

国民皆保険制度を守るためには、健保組合の存続は不可欠です。健保組合・健保連は、健保組合方式の維持に努めるとともに、国民皆保険制度の維持・発展に向け今後も活動を続けていきます。